

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？

小平市 公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.2 平成27年6月16日

第2回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成27年6月13日(土曜) 午後2時～午後4時10分
- 場所：福社会館 第3集会室
- 概要：① 開会
② 前回会議の振り返り
③ 「量と品質」による視点の説明
④ ワークショップ【テーマ：公共施設における「量と品質」】
⑤ 閉会



将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方について話し合う小平市公共施設マネジメント市民会議を4回シリーズで開催しています。

今回の内容は、前回の会議で話し合ったことなどを参加され方にお話していただき、行政経営課から公共施設における「量と品質」の視点についての説明を行った後に、グループに分かれワークショップを行いました。また、今回は市民の方で構成されるグループに加え、職員のみで構成される「職員グループ」を編成して参加しました。

ワークショップの概要

ステップ1 職員説明

ワークショップの前段として、公共施設における「量と品質」について、行政経営課からパワーポイントによる説明を行い、ワークショップをするために必要な知識や情報を提供する。

ステップ2 意見だし

グループごとに、公共施設の配置、老朽化度、人口密度が描かれた地図を見て、「量と品質」の視点から感じたことなどを付箋に書き、意見や課題への解決策を発表しながら模造紙に付箋を貼っていく。

ステップ3 発表

グループのメンバーから出された意見をまとめていく。最後に、グループで発表者などの役割を決めて意見を発表する。



「量と品質」についての説明



グループワークの様子



発表の様子

裏面につづく



【今回のポイント】公共施設における「量と品質」とは



「量」と「品質」について説明します。公共施設の「量」は延床面積で表わすことができます。小平市には市役所庁舎や学校など様々な公共施設があります。これら公共施設の延べ床面積を合計すると約 31 万㎡になり、東京ドーム約 6.6 個分の広さとなります。市民一人あたりの面積は約 1.65 ㎡で、畳 1 畳分ほどの広さとなります。ある大学の研究機関の調査によると、東京都市町村における公共施設の一人あたりの延床面積は 2.03 ㎡とあり、小平市は若干少ないということが言えますが、今後の人口減少などの社会情勢の変化を見据え、適切な「量」について考えていく必要があります。

続いて「品質」の視点ですが、公共施設はその機能やサービスを提供するために、建物を建設してから適切に維持管理をしていく必要があります。また、老朽化が進んだ建物については、建替えなどを検討する必要があります。公共施設は多くの市民が利用することから、安心・安全に建物を保つ「品質」の視点が重要となります。

■ワークショップで出た主な意見

- ・一人あたりの延床面積は多摩地域平均よりは低いですが、思ったより公共施設の数が多い。
- ・近隣市との市境にも公共施設が結構ある。
- ・駅や幹線道路の位置とは関係なく、公共施設が配置されている印象だ。
- ・公共施設が集中している地域については、複合化などを検討することが可能だ。
- ・老朽化が進んでいるところは、急いで今後の対応を考えるべきだ。
- ・老朽化したときの維持管理がしやすいような建物の設計が必要だ。
- ・耐震強度やコンクリート内の鉄筋がさびているかといった管理の視点も重要だ。
- ・防災面として、公共施設を活用した小さな避難拠点が整備されると良い。
- ・複数の課題を解決できるような策を考えるべきだ。
- ・イノベーション（新しい発想）を推進することが大切だ。
- ・行政の縦割りをなくし、政策を前に進める機関を設置し、具体的に事業を推進すべきだ。
- ・それぞれの地域で、公共施設から市民がどれほど恩恵を受けているかを考えるべきだ。
- ・まちの魅力を発信し、人口を維持、もしくは増加させることも考えてはどうか。
- ・市民に積極的に情報提供を行うなど、公共施設の課題を自分の問題として考えてもらえるように働きかけることも大切だ。



今後の予定

第 3 回 6 月 27 日（土曜）中央公民館 講座室 2

第 4 回 7 月 18 日（土曜）中央公民館 講座室 2

※いずれも午後 2 時～午後 4 時



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp